

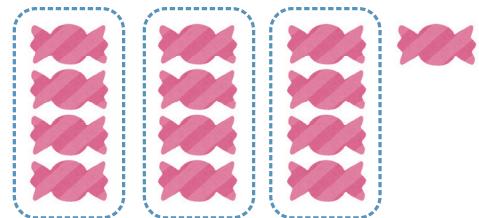
あまりのあるわり算

13このあめを、1人に4こずつ分けると、

3人に分けられて、1こあります。

これを式で書くと

$13 \div 4 = 3\text{あまり}1$ と書きます。



$15 \div 3 = 5$ のように、あまりがないときは

わりきれるといいます。

$13 \div 4 = 3\text{あまり}1$ のように、あまりがあるときは

わりきれないといいます。

あまりは、いつもわる数より小さくなります。 わる数 > あまり

1 計算をしましょう。

$$\textcircled{1} \quad 16 \div 5 =$$

$$\textcircled{2} \quad 25 \div 6 =$$

$$\textcircled{3} \quad 36 \div 7 =$$

$$\textcircled{4} \quad 17 \div 2 =$$

$$\textcircled{5} \quad 67 \div 9 =$$

$$\textcircled{6} \quad 27 \div 4 =$$

$$\textcircled{7} \quad 38 \div 8 =$$

$$\textcircled{8} \quad 23 \div 3 =$$

$$\textcircled{9} \quad 16 \div 6 =$$

$$\textcircled{10} \quad 46 \div 7 =$$

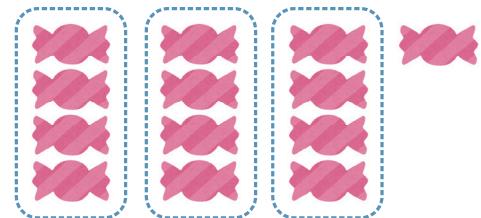
あまりのあるわり算

13このあめを、1人に4こずつ分けると、

3人に分けられて、1こあります。

これを式で書くと

$13 \div 4 = 3\text{あまり}1$ と書きます。



$15 \div 3 = 5$ のように、あまりがないときは

わりきれるといいます。

$13 \div 4 = 3\text{あまり}1$ のように、あまりがあるときは

わりきれないといいます。

あまりは、いつもわる数より小さくなります。 わる数 > あまり

1 計算をしましょう。

① $16 \div 5 = 3\text{あまり}1$

② $25 \div 6 = 4\text{あまり}1$

③ $36 \div 7 = 5\text{あまり}1$

④ $17 \div 2 = 8\text{あまり}1$

⑤ $67 \div 9 = 7\text{あまり}4$

⑥ $27 \div 4 = 6\text{あまり}3$

⑦ $38 \div 8 = 4\text{あまり}6$

⑧ $23 \div 3 = 7\text{あまり}2$

⑨ $16 \div 6 = 2\text{あまり}4$

⑩ $46 \div 7 = 6\text{あまり}4$